



デザイン性にすぐれている誘導ソフトマットだからこそ、
すべての人に対する、本当のバリアフリーができる。

バリアフリーを、みなおしました。

ベビーカー、ヒール靴、キャリーバック、点滴スタンド、お年寄り、車椅子、
ストレッチャー、肢体不自由者、視覚障がい者...。みんなが、安心して移動できる床を。

街中でベビーカーやヒール靴、キャリーバックで移動しにくかった事はありませんか？

視覚障がい者の方にとっては必要な誘導路ですが、屋内空間では、ブロックの凹凸が高齢者や身体障害者等の移動に影響を与えるなどの理由で、設置されていない所もあります。

駅や役所、空港や病院など、誰もが行く公共空間で、すべての人が安心して移動できるようにするには、どうしたらいいのでしょうか。

医療・福祉施設

- ・ 点滴スタンド利用者
- ・ ストレッチャー
- ・ 薬剤運搬台車
- ・ 配膳台車

公共施設

- ・ ヒール靴の女性
- ・ キャリーバックの旅行者
- ・ 運送業台車

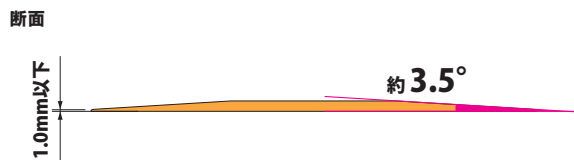
移動弱者

- ・ 車椅子利用者
- ・ ベビーカー
- ・ お年寄り・子ども
- ・ 肢体不自由者
- ・ 視覚障がい者

様々な視点で、バリアフリーを考えました。

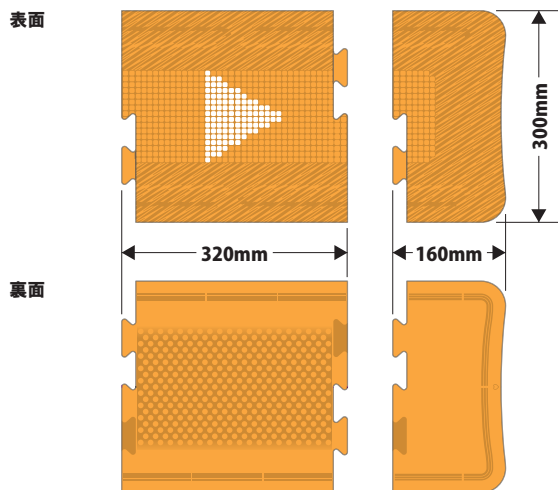
誰の負担にもならない、緩やかな角度。

JIS規格の誘導ブロックと比較した場合、当製品のスロープ部はバリアフリー新法で規定されている「傾斜路」の基準に対して、さらに緩い傾斜になるように設定し、振動無く、小さな力でのスムーズな乗り上げを実現し、移動弱者の方々にとって物理的、精神的なバリアにならない配慮をしております。



表面の16ドット柄で、絵文字表現が可能。 誰にとってもわかりやすい誘導路。

誘導する先に何があるのがわかれば、すべての人にとって大切な誘導路になります。表面にあるドット柄には、文字や案内などの表現が可能で、建物内の案内サインとしてご利用いただけます。(特注)

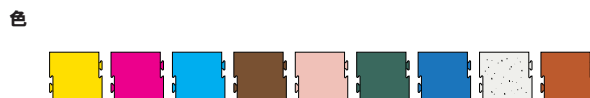


音と感触の違いで誘導路を認識。

素材の弾力性と裏面の細かい突起により、床との感触差を確保し、視覚障がいの方が簡単に違いがわかるようになっています。また、白杖を横に沿わせて歩く事が出来るため、スムーズに通行できます。

弱視の方の目に留まる、床とのコントラスト。

カラーを豊富にご用意する事で、どんな床でもコントラストを上げながら、その床にマッチするカラーを選ぶ事ができます。



移動するすべての人にとって、バリアにならない床の完成。

凸形状が無く、ヒール靴での足首の捻りを防止するほか、ベビーカー、運搬台車、車椅子、病院内での点滴スタンドなど、乗車者や積荷への振動が嫌われるシーンでの視覚障がい者歩行誘導路の設置が可能になるため、マンションや銀行、商業施設、介護施設や病院、役所など、様々な人が通る場所でご利用頂けます。



視覚障がい者



ハイヒール



キャリーケース



ベビーカー



車椅子

利用例

公共施設

受付より奥にも誘導路を



受付より奥にも誘導路を設置する事で、誰に対しても安心して通っていただける空間ができあがります。

銀行

窓口業務終了後の誘導に



窓口業務が終了した後も、スムーズにATMコーナーへお客様を導く事ができます。

空港

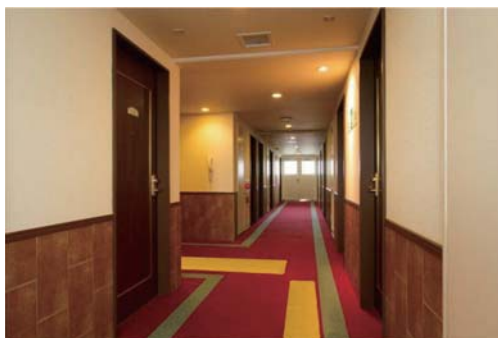
カートやキャリーバッグもラクラク



カートやキャリーバッグが通る場所でも、スムーズな通行ができます。

ホテル

部屋やエントランスなど仮設置可能



必要に応じて仮設置ができるため、必要な時だけ誘導する事が可能です。

病院

入院病室からトイレまで設置



ストレッチャーや点滴スタンドの妨げにならず、病室からトイレまでスムーズに誘導できます。

店舗

入口から受付、エレベーターへ誘導



誰もが自由に行き来できる場所だからこそ、ハイヒールなどでも、安心して通る事ができます。

※写真はイメージです。

バリアフリー新法について

2006年に施行されたバリアフリー新法は、公共施設や不特定多数利用者施設(病院・ホテル・銀行・飲食店・百貨店など)がバリアフリー対象施設になっています。高齢者や障害者などの自立した日常生活や社会生活を確保するために、旅客施設・車両等、道路、路外駐車場、都市公園、建築物に対して、バリアフリー化基準(移動等円滑化基準)への適合を求めるとともに、駅を中心とした地区や、高齢者や障がい者などが利用する施設が集中する地区(重点整備地区)において、住民参加による重点的かつ一体的なバリアフリー化を進めるための措置などを定めています。その中で、視覚障がい者用誘導ブロック等を設置する事が、施設によって定められています。

特許第4179466号
視覚障がい者歩行誘導ソフトマット

歩導くん

- バリアフリー化推進功労者 表彰
内閣府特命担当大臣表彰奨励賞 受賞
- キッズデザイン賞 審査委員長特別賞
(子ども視点の安全安心デザイン) 受賞

導入実績

筑波技術大学
盲導犬育成訓練センター
世田谷区役所
横浜銀行
山陰合同銀行

八尾市立病院
出雲縁結び空港
神戸市総合福祉ゾーン
しあわせの村
その他多数

推薦団体

日本盲人会連合
日本網膜色素変性症協会 J-R-P-S
全国盲重複障害者福祉施設研究協議会
全国盲人福祉施設連絡協議会
日本盲人社会福祉施設協議会
全国視覚障害者情報提供施設協議会

東京ヘレン・ケラー協会
広島県 NPO法人きっかけづくりの会
島根県視覚障害者福祉協会
島根県身体障害者団体連合会
島根県老人福祉施設協議会
島根ライトハウス

新タイプ HODOHKUN Guideway

バリアフリー新法対応
特許 第4179466号

視覚障がい者用誘導ブロックの代替品として、視覚障がい者が考案し、障がい者団体協力のもと、開発しました。視覚障がい者の方のみならず、車椅子・幼児・高齢者・ベビーカー・ハイヒールなどにも、障害にならない設計で、すべての人にとってのバリアフリーを実現する誘導マットです。両面テープでの施工のため、後からの設置も可能でレイアウト変更などにも対応しやすく、カラーも豊富で環境にマッチしたものを選ぶことができます。視覚障がい者の方には、凹凸の代わりに白杖でたたく時の音の違いや、床との質感の違い、足から伝わる感触で誘導路が認識できるようになっています。

※階段や傾斜部分については注意喚起として点状ブロックが必要となります。



製造販売元



錦城護謨株式会社 土木事業本部 HODOHKUN担当
KINJO RUBBER CO.,LTD.
〒581-0068 大阪府八尾市跡部北の町1丁目4番25号

開発元 トーワ株式会社

製品に関するお問い合わせ【平日 9:00~17:00】【24時間受付】

☎ 072-992-2328 ☎ 072-922-4175
✉ info_doboku@kinjogomu.jp